

漢字の研究① (ファイルNo.8)

調査ファイルNo.5で紹介したように、中国から漢字が入ってくるまで、日本には文字がありませんでした。言葉を話していても、それを記す文字がなかったのです。漢字が渡来すると漢字の音を借り、日本語を文字で表記するようになりました。漢字は外国語の文字なのですが、日本語における主要な文字となりました。表音文字である平仮名や片仮名も漢字から作られたのですから。

◎漢字ヒストリー

十九世紀末、中国河南省北部にある古代国家・殷(いん)の廃墟から、文字らしいものをきざみつけた亀の甲や獣の骨が大量に発見されました。文字らしいものは研究の結果、大昔の占いの記録であることが分り、甲や骨にきざまれていたことから甲骨文字と名づけられました。この甲骨(こうこつ)文字が漢字のルーツであり、今から約三千年前に漢字は誕生しました。もっと古い時代の遺物からも「文字らしいもの」は発見されていますが、数が少なく、また漢字との対応関係が不明です。

甲骨文字は数が多く、漢字とのつながりも明らかです。殷墟で発見された約三千のうち半分が解読され、漢字とのつながりもはっきりしています。

次に登場するのが金文(きんぶん)です。青銅器などにきざみつけられた文字で、甲骨文字とのつながりは明らか。金文を起源として生まれたのが石などにきざまれた篆書(篆文てんかん)です。中国を統一した秦が字体を統一する政策を打ち出し、公式書体としました。現在では印鑑の書体として知られています(三文判ではなく実印)。一万円札の中央や以下の赤いハンコの文字、それが篆書です。

隷書(れいしょ)は秦の時代にすでに誕生していました。秦から漢に移る時期、篆書にとってかわっていきます。隷は奴隷の隷ですが、下級役人を隷吏といいますが、下級役人が事務的に早く書ける書体という意味でしょう。篆書は書くのに時間がかかったのです。隷書は、製紙術発明以前、竹片(竹簡)や木の札(木簡)に硬い筆毛で書かれました。隷書になると、現在の漢字の書体(楷書)とほとんどかわりませ

ん。同じく一万円札でいうと、横書きの日本銀行券、壱万円という字が隷書体です。新聞の題字にも使われています。

後漢の時代には楷書(かいしょ)が生み出されました。楷とは手本とか、正しいという意味です。現在の私たちはこの書体に準じて漢字を書いています。楷書を少しくずしたのが行書、さらにくずしたのが草書です。楷書・行書・草書の成立によって字体はほぼ固定化されました。甲骨文や金文は固い用材にきざまれたため単純な形でした。篆文から書体は変化しました。現在の漢字の遠い祖先は甲骨文、直接の先祖は楷書ということになります。

◎用具と用材

甲骨文字は甲や骨にきざまれました。金文、篆書、隷書もまた、金属・石・木材が記される用材です。この用材と、記す用具は時代により変化したのです。現在の私たちの用具・用材は、紙と鉛筆だけでなく、印刷やパソコンといったものまであります。用具・用材が書体も変化させたといえるでしょう。

楷書は製紙技術が発明されたことに応じて確立、筆毛も柔らかくなり、線の強弱が表現しやすくなりました。紙と柔らかい毛筆の誕生が、書を芸術まで高め書聖と称される王羲之(おうぎし)を生んだともいえるのです。書の表現力が飛躍的に高まったのです。

ガラストップ ガスコンロ販売中!

7年リースなら...
標準工事費無料
7年間メーカー保証付



7年リース
(税込) 月々 750円 から

宿便はあるか 便の常識

家庭の医学 一ロメモ

断食をしたら宿便が出た、という話を聞きます。それは宿便ではありません。大便の大部分は食物繊維など食へ物のカス、あとの残りが腸壁の死んだ細胞や腸内細菌などです。断食で食べ物のカスがなくなり、残りだけが出てくるため、これを宿便だと思ひ込むのです。

1万人以上の人の腸を内視鏡で検査した医者も、宿便など見たことない、と言います。理論的にも宿便は存在しません。宿便は、腸の壁にへばりつき何年も留まる、といわれます。しかし、腸壁は粘液に覆われているため便が付着しにくく、また腸壁の細胞は一定期間死んではいがれ落ちます。

宿便とはつまり、便秘の人の腸にある、通常の便のことなのです。

★ブロッコリーとベーコンのケチャップ炒め★



- ①ブロッコリーは小分けし、少し硬めに茹でる(芯もいっしょに)
- ②フライパンにオリーブ油を少量ひいて、中火でベーコン、ブロッコリーの順に炒め、トマトケチャップを適量入れ、塩・コショウ、しょう油少々で味付け

いろいろに、ゆず、またはレモンの皮を千切りにして添えるとなお良し。

わが家の自慢料理

△滋賀県栗東市 藤原幸子様△

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。